

日本光学会第 168 回常任幹事会

日 時： 2003 年 1 月 10 日 (金) 13:30~17:00

場 所： 機械振興会館 B3F 研修室 1 号

出席者： 山本幹事長, 他 38 名

議 事：

1. 前回議事録に関する質問事項

- ・前回議事録, 「光学」掲載用議事録に関する質問はなく, 議事録は承認された。

2. 報告事項

2.1 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・50 周年記念号の配付先を広報とリストアップすることとなった。
- ・50 周年記念号の CD-ROM をホームページにアップすることが承認された。ただし, 光学会の各講演会では販売しているため, ホームページにアップする時期と技術的な問題については今後検討することとなった。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載論文数が減少しつつある。
- ・今後は Review や小特集を増やすとともに, 電子ジャーナル化も視野に入れた抜本的な立直しを考えたい。

2.2 講演会関連報告

(1) 光学シンポジウム進捗報告

- ・予算案が承認された。

(2) サマーセミナー進捗報告

- ・14 年度の反省をふまえ参加者が増えるよう, 今年は 1 泊 2 日での計画を検討中である。

(3) Optics Japan 2002 結果報告

- ・事務業務を業者に委託したため, 実行委員は企画に専念することができた。
- ・連休の開催を避けてほしいという声が多かった。会場費の安い大学で開催する場合には, 休日開催は避けられず, 光学会からの援助が必要だろう。
- ・Web 登録, プロジェクター発表ともトラブルはなかった。

(4) 平成 14 年度名古屋講演会結果報告

- ・22 名が参加し, 活発な議論が行われた。

(5) 平成 14 年度日本光学会関西講演会実施報告

- ・95 名が参加し, 活発な議論が行われ盛況であった。

(6) ICO 進捗報告

- ・組織委員, 実行委員, プログラム委員などが決定し, 順

調に進捗している。

- ・参加費は参加者の国籍によっては割引することも検討している。
- ・電子登録の方向で検討している。

2.3 その他報告事項

(1) 幹事選挙結果報告

- ・有効投票数 305 票のうち, 得票数 264 票以上で幹事会推薦候補者 22 名が当選したことが報告された。次点は 73 票。

(2) 光学論文賞結果報告

- ・平成 14 年度光学論文賞は, 外林秀之氏, 渡辺歴氏が受賞者に選ばれたことが報告された。
- ・候補となった論文は 8 件であった。

(3) 光学論文賞副賞について

- ・これまで副賞としていた商品が製造中止となってしまったが, 仙台ニコンで同様の商品を作製していることがわかり, そこに依頼した。

(4) 協賛依頼について

- ・4 件の協賛依頼があり, すべて承認した。

(5) 会員動静

- ・年末の調査の結果, 2 年間会費未納者の除籍等があり会員数は減少した。

(6) 応物スクール B 公募案内について

- ・公募についての紹介がされたが, 例年同様, 申し込みは行わないこととした。

(7) OR 出版委員会報告

- ・投稿料の値下げキャンペーンを 2 年間行うこととした。
- ・カラーページの値下げをすることとした。

(8) 環境改善委員会報告

- ・応用物理学会に将来構想検討ワーキンググループが発足するため, そこと調整する形で進める予定との報告がされた。

(9) 産学協力検討委員会

- ・次年度から具体的活動が実施できるようコンセプトや実行計画案を検討中との報告がなされた。

(10) 日本光学会規則について

- ・応用物理学会事務局より, 前年度に応用物理学会で定め全分科会に適用される規則が, ホームページと「光学」では変更されていないとの指摘があり, 変更することとなった。

(11) 光技術に関する産官学シンポジウムの協賛。メーリン

グリスト使用について

- ・光技術に関する産官学シンポジウムに関し、メーリングリストを使って会員に情報通知することが承認された。
- ・メーリングリストの使用に関するガイドラインを整備することとなった。

3. 審議事項

(1) 次期幹事役職決定

- ・幹事長案の各幹事の役職が承認された。

(2) 予算審議

- ・予算案が承認された。

(3) 平成 15 年度活動計画 (案)

- ・来年度の活動計画案が示された。

(4) 将来問題担当幹事委任の件

- ・岡幹事 (来年度国際協力担当) が 3 月から 12 月まで海外勤務となるため、その間の仕事の代行について議論した結果、幹事会のメンバーで仕事を分担して埋め合わせることにした。
- ・このような事例は今後も予測されるため、明確な規則を今後検討することとした。

(5) 将来問題委員会/企画運営委員会について

- ・企画運営グループの委員選出法、将来計画委員会の委員の任期等について、現在進められている議論の要点が報告された。

(6) 光計測シンポジウムの実行委員について

- ・これまで光学シンポジウム担当者が兼任しており、来年度は渡部幹事を任命することが承認された。

(7) 韓国光学会 (OSK) との協定の延長について

- ・韓国光学会との協定を 3 年間延長することが承認された。協定書には、会員レートで雑誌を購入できるとの特典を追加した。

(8) 光学資料室・事務局検討委員会について

- ・3 月から人を雇い事務局としての機能をもたせる予定。
- ・2 月末までに必要な什器、PC、外線等を整備し、現在のレイアウトも変更する予定である。

(9) ICO-ODF 費用折半について

- ・日本光学会主催であるので、赤字・黒字いずれの場合においても光学会の責任で行うこととなった。

(10) 選挙運営ワーキンググループについて

- ・山本幹事長、岩井幹事、大坪幹事、川田幹事で進めることが承認された。

(11) 「OJ のあり方検討ワーキンググループ」の答申と今後の方策について

- ・問題点を運営体制、応物との関連、一般講演内容、参加者意識の 4 つに分けて問題を整理、解決案を提言した。

- ・担当幹事は 1 年ごとに 1 人入れかわる 2 年任期とし、運営上の継続性を維持できるようにすることが承認された。

- ・来年度の OJ に関し、外部委託は予算上、優先的に組み込むことが承認された。ただし、外部委託に加え大学以外の施設で開催すると大幅な赤字が予測されるので、開催場所についてはさらに検討することとなった。

平成 14 年度第 3 回常任幹事会

2003 年 3 月 14 日 (金) に応用物理学会新資料室において開催されました。「光学」「OR」の編集委員会報告、冬期講習会、光学五学会関西支部連合講演会、光学シンポジウム、サマーセミナー等の講演会関連の報告および審議、協賛依頼、会員動静、光学資料室・事務局検討委員会、将来計画委員会、研究グループ活動、産学協力検討委員会、企画運営委員会等について報告がなされ、総会資料、研究グループ補助金申請、光学界主催 Workshop、メーリングリストのガイドライン、50 周年記念 CD-ROM の配布先、Optics Japan 2003 等について報告、審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 32 巻第 7 号に掲載予定です。

平成 14 年度総会

平成 14 年度総会は 2003 年 3 月 28 日 (金) に神奈川大学横浜キャンパスにおいて開催され、まず山本公明幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

- ・OR の掲載論文数増加に向けて編集委員会で対策を検討している。電子ジャーナル化も検討しているが、Springer 社との現在の契約条件が問題になっている。
- ・サマーセミナーは 2 泊 3 日では参加しづらいという意見があり、平成 15 年度は 1 泊 2 日で開催する。
- ・OJ の検討ワーキンググループを作り、OJ2002 でのアンケート結果をふまえて平成 15 年度は平日に大学外で開催する。
- ・ICO への加盟は、外国人会員 20%以上という条件ができたため、加盟できなかった。
- ・幹事選挙において、幹事会推薦者選考に関する基本的考え方を作成した。今後も幹事選挙方法の検討を引き続き行う。
- ・日本光学会の資料室が応用物理学会と同じビルに移転した。5 月頃から事務員を一人採用し、事務局機能を強化していく。
- ・平成 15 年度から企画運営委員会を充実させる。また産学連携推進事業を開始する。

- ・塩川孝紳庶務幹事より平成14年度事業報告および平成15年度事業計画、田中賢一会計幹事より平成14年度決算報告および平成15年度予算案が提示され承認された。
- ・総会に先立ち平成14年度光学論文賞授賞式が行われ、外林秀之氏(MITおよび通総研)と渡辺歴氏(大阪大)が受賞された。総会終了後、外林氏と渡辺氏による光学論文賞受賞記念講演が行われた。

なお、日本光学会の平成14年度事業および平成15年度の計画などに関する情報は、第32巻第7号の「日本光学会平成14年度年次報告」の中に詳細が掲載される予定です。

第208回「光学」編集委員会

2003年3月13日(木)に、九段会館瑠璃の間において開催されました。第32巻第11,12号企画、第33巻第1~5号構想案について審議が行われました。また、投稿規定ならびに執筆要項の改訂等について審議がなされました。そのほか、論文投稿・審査状況、第32巻第4~10号の進捗状況、会計等について報告がなされました。

臨時「光学」編集委員会

2003年3月28日(金)に、神奈川大学横浜キャンパス20号館1F-119教室において開催されました。「光学」における講義シリーズの今後のあり方、過去に掲載した特集テーマの出版、および、光応用技術の教科書の出版について議論しました。

光設計研究グループ第28回研究会

テーマ：光リソグラフィーを支える光設計
日 時：2003年5月30日(金) 10:00~17:40
場 所：東京工芸大学芸術学部芸術情報館1階メインホール(東京都中野区)

プログラム：

- 1) ODF2002 Best Paper Award 受賞講演
ステッパー投影レンズに適した収差関数
松山知行(ニコン)
- 2) 超高性能ステッパー投影レンズの最先端
石山敏朗ほか(ニコン)
- 3) 収差にロバストな露光法
東木達彦(東芝)
- 4) EUV リソグラフィー用ミラーの反射率測定
渡辺 豊(キヤノン)
- 5) 最近のリソグラフィ用光源技術開発の状況
溝口 計ほか(ギガフォトン)
- 6) CZ法による大口径フッ化カルシウム単結晶の育成

柳 裕之(トクヤマ)

- 7) 投影光学系の収差低減
吉原俊幸(キヤノン)
- 8) ステッパー投影レンズの収差とフレアー
渋谷真人ほか(東京工芸大)
- 9) RET(超解像技術)
福田 宏(日立製作所)

主 催：日本光学会(応用物理学会)光設計研究グループ
参加費：光設計研究グループ会員4,000円、光設計研究グループ学生会員無料、一般10,000円、学生一般2,000円。当日、受付にてお支払いください。

参加申込：氏名(フリガナ)、所属、住所、Tel、Fax、E-mail、参加区分(参加費参照)、懇親会(無料)参加の有無をE-mailまたはFaxまたは郵送にて下記申込先までお送りください。

申込先：富士写真フイルム(株)宮台技術開発センター 宮
M 西畑純弘

〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798

電話 0465-85-4964 Fax 0465-85-2141

E-mail: nisihata@miya.fujifilm.co.jp

問合せ先：キヤノン(株)高精密光学技術センター光学11
設計室 石井弘之

電話 028-667-5711 Fax 028-667-9325

E-mail: ishii.hiroyuki543@canon.co.jp

<http://www.opticsdesign.gr.jp/>

視覚研究グループ研究会

標記研究会を下記のとおり開催いたします。下記テーマにつき講演を募集いたしますので奮ってご応募ください。

テーマ：視聴覚情報処理全般

期 日：2003年7月18日(金)

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市野路東1-1-1)

申込締切：2003年5月16日(金)

申込方法：発表題目、発表者(ふりがな、登壇者に○印)、おもな所属学会、所属、連絡先住所(事務局からの郵送用)、Tel、Fax、E-mail、概要(150字程度)、その他ご意見、ご要望を記入の上、電子メールまたはFaxにて下記宛にお申込みください。

申込先：篠田博之

立命館大学理工学部電子光情報工学科

Fax 077-561-2663

E-mail: hshinoda@se.ritsumei.ac.jp

共 催：映像情報メディア学会ヒューマンインフォメー

ション研究会

第 31 回光波センシング技術研究会

テーマ： 21 世紀の光センシングをリードする光デバイス
主催： 応用物理学会・光波センシング技術研究会
期 日： 2003 年 6 月 5, 6 日
場 所： 東京工業大学, 大岡山キャンパス 100 年記念館
(東京都目黒区大岡山 2 丁目)

21 世紀に入り, 光センシングには光波の特徴を最大限生かした極限技術の追求と, これまでの光センサーのさらなる高性能化・高機能化が要求されています。とくに, 本研究会では 2002 年ノーベル物理学賞に輝く小柴博士の研究グループから, 光センサーの応用として, 壮大なニュートリノの検出実験に関する招待講演をいただきます。

招待講演： ニュートリノ実験における微弱光計測技術
梶田隆章 (東大)

液晶空間光位相変調器とその応用

原 勉 (浜松ホトニクス)

フォトニクス結晶ファイバ

遠山 修 (三菱電線工業)

全光波長変換技術とその展望

猿渡正俊 (防衛大)

面発光レーザの波長制御技術

小山二三夫 (東工大)

SOI フォトニクス結晶スラブ

納富雅也 (NTT)

高効率傾斜ビーム全反射型受光素子の提案

吉田谷弘明 (アンリツ)

これに加えて, 光センシングの基礎, 材料, デバイス, 光計測領域の一般応募論文を併せて発表いたします。

参加費： 予約割引 参加費 5,000 円, 論文集 6,000 円。ただし「参加のみ・論文集抜き」はありません。5 月 29 日以降申込みは 13,000 円となります。

問合せ先： 光波センシング技術研究会事務局

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-17-42 (302)

連企画気付

電話 03-3950-1641 Fax 03-3565-7717

E-mail: fukui@poem.ocn.ne.jp

<http://jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>

DO2003 (6th International Conference on Diffractive Optics)

EOS (European Optical Society) の主催で微細光学素子と波動光学の設計・応用に関する国際会議 DO2003 を開

催します。

期 日： 2003 年 9 月 17 日~20 日

場 所： Wadham College, Oxford, United Kingdom

後 援： EOS, Institute of Physics Optical Group, University of Oxford

講演分野：

1. DOE design theory and techniques
2. System integration, DOEs in optical systems
3. Modeling of optical systems that include DOEs
4. DOEs for integrated optics
5. Sub-wavelength structures
6. Fabrication techniques of DOEs
7. Novel DOE materials
8. Photonic crystals
9. Shaping and homogenisation of optical beams
10. Diffractive optics for X-rays
11. Technology of programmable DOEs
12. Application of programmable DOEs

問合せ先： Diffractive Optics 2003

University of Oxford, Department of Engineering Science, Parks Road, Oxford OX1 3PJ, UK

Fax +44-1865-273905

E-mail: info@DO2003.org

<http://www.DO2003.org>

必見・必聴セミナーシリーズ

テーマ： 遂にベールを脱ぐ非球面レンズ加工技術—ビジネズ戦略への決定版—

期 日： 平成 15 年 6 月 26 日 (木), 27 日 (金)

場 所： 理化学研究所和光本所内仁科ホール

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321

「社会技術研究」論文募集・論文集発刊

論文誌名： 社会技術研究

発行・編集者： 社会技術研究会編集委員会

編集委員長： 中島尚正 (放送大学教授, 社会技術研究システム研究顧問)

募集対象となる論文の研究領域： 本論文集は, 社会問題の解決や社会の円滑な運営に貢献することを目標とした研究の成果を対象とします。目標が合致していれば, 理論的な研究から実践的研究 (政策オプション, 制度等の提案などを含む) まで幅広く採りあげます。人文・社会科学と自

然科学のさまざまな研究領域からの投稿を歓迎します。特に、領域横断的・俯瞰的な研究の成果を期待します。
 投稿規定, 論文審査要領, 論文の発行形態: 「社会技術研究会・ホームページ」に掲載 (<http://www.ristex.jp/>)
 論文募集期間: 平成 15 年 5 月 1 日~5 月 31 日
 論文集発行日: 平成 15 年 10 月 1 日 (予定)
 問合せ先: 社会技術研究システム気付 社会技術研究会

事務局
 〒105-6218 東京都港区愛宕 2 丁目 5 番 1 号愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 18 階
 電話 03-5404-2800 代表 (担当: 宮川, 加畑)
 E-mail: ttn5a3g28m@mx2.ttcn.ne.jp
<http://www.ristex.jp/>

日本光学会 *news* の掲載申込み先:

〒305-8563 つくば市梅園 1-1-1 中央第 3 産業技術総合研究所計測標準研究部門長さ計測科
 平井亜紀子 電話 029-861-4283 Fax 029-861-4080 E-mail: a-hirai@aist.go.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

日本光学会平成 15 年度幹事 (*常任幹事)

幹事長:	山本 公明* (オリンパス)	
副幹事長:	大坪 順次* (静岡大)	
前幹事長:	岩田 耕一 (大阪府大)	
庶務幹事:	川田 善正* (静岡大)	大澤日佐雄* (ニコン)
	田中 賢一* (明治大)	平尾 明子* (東芝)
	塚田 由紀* (交通研)	長濱 博幸* (トプコン)
	平井亜紀子* (産総研)	神原 浩久* (NTT)
『光学』編集幹事:	岩井 俊昭* (北大)	三尾 典克 (東大)
	加藤 純一 (理研)	裏 升吾 (京都工繊大)
『OR』編集・出版幹事:	一岡 芳樹* (奈良高専)	豊岡 了 (埼玉大)
国際協力幹事:	岡 和彦 (北大)	富田 康生 (電通大)
	立野 公男 (日立)	
将来問題担当幹事:	志村 努 (東大)	山崎 章一 (キヤノン)
企画・事業担当幹事:	大坪 順次 (静岡大)	梅田 倫弘 (農工大)
	春名 正光 (大阪大)	仁科喜一郎 (リコー)
	渡部 文雄 (富士写真光機)	篠原浩一郎 (富士ゼロックス)
	山下 敦司 (コニカ)	太田 淳 (奈良先端大)
	吉田 慎也 (シャープ)	金子 寛彦 (東工大)
	阿山みよし (宇都宮大)	佐藤 彰 (ミノルタ)
	三浦 則明 (北見工大)	宮城 光信 (東北大)
	野村 俊 (富山県立大)	鈴木 孝昌 (新潟大)
	庄司 一郎 (分子研)	西 壽巳 (大阪工大)
	早崎 芳夫 (徳島大)	光永 正治 (熊本大)